

令和6年度 事業計画

1. 基本方針

昨年は新型コロナウイルスの2類から5類移行が叫ばれ、落ち着く期待があったものの、結果としてコロナ・インフルエンザで終わった1年でした。

残念ながら当初計画していた各種事業が感染防止のため縮小を余儀なくされつつも、会員皆様のご協力をいただき会員が微増となり、減少を食い止めることができました。

心からお礼申し上げます。

また安全面において、損害賠償事故が一定時期に集中し大変危惧されましたが、幸いにも人身事故を含む重篤事故がなく、胸をなでおろすことができました。

本年も会員皆様のお力添えをいただきますよう、心からお願いいたします。

本年に入り石川県能登半島での大地震、羽田空港での旅客機衝突事故、北九州市での繁華街大火災と元日から災害が立て続き発生、一方政治の舞台では自民党派閥のパーティ券販売のキックバック裏金問題が発覚し、例年にない異常な年の幕開けとなりました。

我が国の令和6年度の国家予算が成立されましたが、高齢者労働行政において今年度も、高齢者就業機会確保等事業、高齢者活躍人材確保育成事業、生涯現役支援窓口事業等シルバー人材センター、ハローワークなどの地域における多様な就業機会の確保を掲げております。このことは、今後とも増大する高齢者の生きがい・働きがいつくりをめざし、一人でも多くの方々の社会参加を通して、今まで培ってきた経験・能力・技能を思う存分発揮していただくことが求められており、特に女性会員の拡大により就労のすそ野を広げ、シルバー人材センターの活性化を求めています。

さて、昨年10月から消費税に関し「インボイス(適格請求書等保存方式)制度」が残念ながら導入されました。

全国の各センターにおいては、負担となる消費税の原資を捻出するために事務費の増額に頼る流れになっております。

また、これと並行して昨年の春の国会において「フリーランス新法」が制定され、本年秋を目途に施行されようとしております。

会員の皆さんはこのフリーランスに該当し、従来センターと会員との請負契約から発注者と会員との契約に改定されることとなります。

そのためには、多くの契約書・規約等の取り交わしが必要とされています。

今後さらに多くの課題が散在しておりますが、一つひとつ乗り越えなければなりません。

本年通常の社会に戻る状況にあります。また、まだまだ物価高等厳しい社会環境であります。この1年間シルバー人材センター事業を通して乗り越えて行こうではありませんか。

以下、次の実施計画を推進いたします。

2. 実施計画

(1) 事業の普及啓発

- ① 会報「シルバー旭川」を発行し、会員や各関係機関・団体に配布、「高年齢者就業機会確保事業」活動についての情報提供に努めます。
- ② 「シルバー情報」を作成、新聞折込みにより各戸に配布、新会員の入会促進と就業拡大に繋がります。
- ③ ホームページの内容を大幅に見直し、「インボイス制度」や「フリーランス新法」、「契約の見直し」等で生じる新たな情報の発信に努めます。
- ④ 将来的なデジタル化に対応するため、スマホでの会員専用サイトを開設いたします。
- ⑤ 事務局だよりを作成し、会員向け各種講習会、研修会を実施し、技術、知識の向上、仲間づくりに役立ててもらえるよう努めます。
- ⑥ 大型商業施設内でのシルバー事業の普及啓発活動を実施します。

(2) 会員組織の確立

- ① 会員拡大に向け、実情に応じた入会説明会を開催するとともに、中心市街地でのシルバーの仕組みと入会説明及び面談等を実施します。
- ② 会員の「ご主人・奥様」、「知人・友人」の紹介等、口コミによる新会員の入会を促進します。
- ③ 会員への研修会、講習会等の開催を通して、会員相互の連帯感を培い、事務局との意思疎通を図ります。
- ④ 「かたくりの会(女性の会)」を中心に、女性の入会促進にターゲットを絞った女性向けのイベントや説明会等の開催に取り組みます。
- ⑤ 新規事業の開拓や拡大、希望職種の変換、声掛けに努め、未就業会員の減少を図ります。
- ⑥ 高年齢者活躍人材確保事業を活用し、新会員の拡大に努めます。

(3) 就業機会の拡充

- ① 「自ら開拓、自ら就業」を合言葉に、役員・会員・職員による創意工夫を通して、普及啓発と就業機会の拡大に努めます。
- ② ホームページを活かし、シルバー事業や派遣事業のPRを行い、適正就業ガイドラインに沿った就業拡大を図ります。
- ③ 賛助会員をはじめ企業の訪問を行い、シルバー事業のPRと就業拡大に努めます。

(4) 安全就業の推進

- ① 「安全はすべてに優先する」「健康第一」を合言葉に、安全就業に努めます。
- ② 会員の安全就業に係る意識の高揚と事故防止活動の促進を目的として、「安全標語」を募集します。
- ③ 会員の健康管理が大切なことから、会報や情報誌を利用した健康意識の啓発に努めます。
- ④ 研修会・講習会を通して、会員の安全意識の高揚を図ります。
- ⑤ 安全講習や安全パトロールの充実を図り、徹底した事故防止に努めます。

(5) 財政の基盤強化

- ① 事務局内の情報の共有や職員相互の連携強化に努め、研修等を通じて事務局員の更なる資質の向上を図ります。
- ② 事務局組織の活性化を図り、公益性と収益性のバランスのとれた運営を行います。
- ③ シルバー事業を取り巻く環境が厳しさ増すと予想されることから、尚一層の事業運営の努力と事務経費の節約を図ります。
- ④ 受注の執行管理を徹底するとともに、未収金の防止に努めます。
- ⑤ 行政機関に対し、就業の提供の拡大と財政的支援の要請に努めます。